

国際交流

朝鮮大学校歯科大学との学術交流報告

伊賀弘起, 中野雅徳*, 松尾敬志**

A Report of Academic Exchange Program between Tokushima University Faculty of Dentistry and Chosun University College of Dentistry

Hiroki IGA, Masanori NAKANO*, Takashi MATSUO**

1. 朝鮮大学校歯科大学との学術交流

徳島大学歯学部と朝鮮大学校歯科大学は平成9年に学部間の学術交流協定を締結し、教員の相互訪問を基軸とした学術交流を開始した。その後平成12年には朝鮮大学校歯科大学から教員と共に10名の学部学生を迎えて第1回の学術交流セミナーを開催し、現在まで毎年交互に教員と学生による訪問プログラムを継続している。学術交流協定締結12年目の本年度は平成21年3月24~26日の3日間、徳島に朝鮮大学校の教員3名、学部学生8名を迎えて「第9回学術交流セミナー」を開催したのでその概要を報告する。



図1 歓迎レセプションでの交流

2. 主な交流内容

1日目(3月24日) 昨年の朝鮮大学校における意見交換会の場で、朝鮮大学校から「今後は歯学部のみならず、薬学部とも学術交流を図りたい」との申し出があった。そこで本年度は歯科大学一行に先がけて3月24日に朝鮮大学校薬科大学長(学部長) Woo Eun Rhan 准教授が本学の高石喜久薬学部長を表敬訪問し、林良夫 HBS 研究部長、中野雅徳教授同席のもとに薬学部との学術交流を視野に入れた意見交換を行った。同日夕方には朝鮮大学校歯科大学の教員2名、学生8名が合流し、徳島大学歯学部主催の歓迎レセプション(図1)に参加、続いて阿波踊り会館での阿波踊りを体験した。

2日目(3月25日) 朝鮮大学校訪問団は午前中に永田俊彦歯学部長を表敬訪問し(図2)、中野教授と竹内久裕講師(徳島大学病院)の案内で大学病院歯科診療部を見学した。午後には両大学学生によるワークショップと研究発表会を実施した。

前半は著者(伊賀)のコーディネートで自己紹介を兼ねたアイスブレイキングにて交流を深め、後半は



図2 永田俊彦歯学部長への表敬訪問

松尾敬志教授のコーディネートによる KJ 法を用いた Small Group Discussion (SGD) を実施した。その際のテーマとして「The problems of declining birth rate and late marriage.」を設定し、両国の抱えている問題点およびその相違について白熱した議論が行われた(図3)。

続いて開催された学術交流セミナーは(図4)、永田

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

口腔保健教育学分野, *口腔機能福祉学分野, **歯科保存学分野

Department of Oral Health Care Education, Functional Oral Care and Welfare*, Conservative Dentistry**, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School



図3 日韓合同ワークショップ



図4 学術交流セミナー（研究発表会）



図5 青野敏博徳島大学長への表敬訪問

歯学部長の歓迎の挨拶で幕を開け、教員として朝鮮大学校 Moon Seong Yong 助教授と本学部口腔分子病態学分野の石丸直澄准教授が講演し、学生として朝鮮大学校からは Choi Hwan Suk さん、本学部からは大槻有美さんが研究発表を行った。さらに Kim Hyung Moon 君と米倉和秀君がそれぞれの大学を紹介し、そのなかで米倉さんの韓国語によるプレゼンテーションが朝鮮大学校から喝采を浴びたことは特筆すべきことであった。セミナー終了後は学内カフェテリアにおいて懇親会が行われ、発表者には永田学部長から感謝状と記念品が授与された。

3日目（3月26日）翌日朝鮮大学校一行は、林 HBS 研究部長と中野教授とともに徳島大学本部を訪れ、青野敏博徳島大学長を表敬訪問した（図5）。その後「徳島文化体験ツアー」として藍の館と鳴門の「渦の道」を訪れ、午後には鳴門から帰路についた。このツアーには徳島大学から中野教授、泰江章博助教（口腔顎顔面矯正学分野）、大学院生の野口直人君、5年生の榊井敦史君、鎌田久美子さん、大久保晶さん、4年生の米倉和秀君、藤井章誠君が同行した。

3. 学術交流を終えて

昨年の学術交流において討議された「薬学部を交えた大学間交流」の実現に向けて、本年度は朝鮮大学校薬科大学長 Woo Eun Rhan 先生と本学の高石薬学部長の意見交換の場を設けることができたことはこの学術交流をさらに発展させる第一歩になった。また昨年に引き続き KJ 法を用いたワークショップを実施したが、今回は日韓学生を混合してグループを構成したため、より交流の

深まる討論ができたと思われる。その後の研究発表会、懇親会、翌日の徳島体験ツアーにおいても学生間のコミュニケーションは昨年よりさらに親密となっており、この学術交流が益々発展することが期待される。

4. 学術交流セミナー参加者

朝鮮大学校

薬学部長 Woo Eun Rhan 准教授
歯科大学 Choe Han Cheol 教授,
Moon Seong Yong 助教授

2nd grade

（4年生） Kim Se Hee, Jeong Stephen H,
Kim Hyung Moon

3rd grade

（5年生） Sung Min Jae, Choi Yur Ri, Choi Hwansuk,
Lee Joo Hyung, Jung Bo Ram

徳島大学歯学部（大学院生、学部学生）

大学院 野口 直人

4年生 大槻 有美, 藤井 章誠, 米倉 和秀

5年生 大久保 晶, 加藤 浩, 鎌田 久美子,
出口 大, 永井 伸人, 西原 郁子,
西脇 和弘, 榊井 敦史, 山田 由加里

5. 助 成

今回の学術交流に対して藤井・大塚国際教育研究交流資金および株式会社トクヤマデンタルより援助を受けた。ここに深く感謝の意を表します。